

授業科目名	保健体育Ⅵ	必修	開講年次	3	単位数	1
科目区分	保健体育科目					
サブタイトル	スポーツ実技（バスケットボール）		担当者	麓 正樹		
講義概要	<p>【概要】バスケットボールの実践を通してその特性に触れ、魅力や楽しさを味わう。また、そのような実践が健全な“こころ”と“からだ”を促進することを理解する。基礎技術の習得やゲームにおいて、チームワークやリーダーシップが重要であることを理解する。生涯にわたって日常生活の中に、運動やスポーツを取り入れることができる実践能力を高める。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バスケットボールの特性を説明できる。 2. ドリブル・パス・シュートなどの個人的技能を実践できる。 3. オフェンスとディフェンスの基礎を理解し、集団的技能を実践できる。 4. 試合の中で個人的技能と集団的技能を活用するための戦術を実践できる。 5. 技能向上のための練習方法を提示できる。 6. 試合を運営していくために審判を担当できる。 					
履修条件	・スポーツウェア、室内シューズを準備すること					
教科書・参考書	<p>【教科書】・特に指定しない。</p> <p>【参考書】・必要に応じて指示する。</p>					
授業回数	内容					
1	オリエンテーション					
2	基本練習(シュート)					
3	基本練習(ドリブル)					
4	基本練習(パスワーク)					
5	オフェンスの基礎					
6	ディフェンスの基礎					
7	ルールの理解とゲームの進め方					
8	ミニゲーム1					
9	ミニゲーム2					
10	ミニゲーム3					
11	ミニゲーム4					
12	フルコートゲーム1					
13	フルコートゲーム2					
14	フルコートゲーム3					
15	フルコートゲーム4					
評価方法	・出席状況・授業態度・テスト・レポートにより総合的に評価する。					
評価基準	<p>上記授業単元について、概略を理解できた者については「C」とし、概略に基づき実践できた者については「B」、さらに、概略や周辺領域の知識に基づいて練習方法やゲーム運営および技能について、独創的もしくはより質の高い実践方法を表現出来た者については「A」とする。授業内容についての理解自体が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とする。</p>					
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ実技の際、服装やシューズに不備のある場合は参加を認めない。 ・私語などによる授業を妨げる場合は即刻退室を命じ、以後の受講を認めない。 ・受講者人数制限を行う。 					